

臨床研究に関する情報

当院（当機関）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

〔研究課題名〕 Pegfilgrastim 投与後の末梢血中への CD34 陽性細胞の動員効果と移植後の生着に関する検討

〔研究代表機関名・長の氏名〕 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

〔研究代表者所属・氏名〕 北海道大学病院 血液内科/検査・輸血部・後藤 秀樹

研究機関名	診療科（部署名）	研究責任者名	機関の長の氏名
札幌北楡病院	血液内科	杉田純一	目黒 順一
札幌医科大学附属病院	血液内科	井山 諭	渡辺 敦
旭川医科大学病院	病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科	高橋秀一郎	東 信良
市立旭川病院	血液内科	柿木康孝	垂石 正樹
市立函館病院	血液内科	伊東慎市	森下 清文
大阪公立大学	血液内科・造血細胞移植科	中前博久	中村 博亮
国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科	福田隆浩	瀬戸 泰之
都立駒込病院	血液内科	土岐典子	戸井 雅和
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	血液内科	西田徹也	錦見 尚道
岡山大学病院	血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科	藤井伸治	前田 嘉信
九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科	加藤光次	中村 雅史

[研究の目的]

daily G-CSF ならびに Pegfilgrastim それぞれで動員された末梢血幹細胞を用いた同種移植後の生着率および生着に及ぼす因子を検証する

[研究の方法]

○対象となる患者さん

研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日の間に本研究に参加する施設に通院又は入院中で、血液疾患に対して、同種移植を受けた方の血縁ドナーになった方で本研究の参加に同意された方

○利用する情報

*2026 年 3 月 31 日までの以下の情報をカルテより追加で収集します。

情報：有害事象、体重、身長

*取得済みのアフェレーシス産物、血清より以下の解析を追加で行います。

解析：血清中のサイトカイン濃度（IL-6・TNF- α ・E-selectin・IL-10・IL-18・ICAM・VCAM・カテコラミン・プロスタグランジン・IL34・IL-11, SCF, LIF, CXCL12 (SDF-1), IL-15, M-CSF, IL-7・IL-3・FLT3L・MCP1・IFN・G-CSF・GM-CSF・IFN- α 2・IFN- γ ・(TNFSF2)・CXCL8 (IL-8)・IL-12p70・IL-17A・IL-18・IL-23・IL-33) 採取細胞の蛋白発現（NF κ B・JAK・STAT・PI3K・AKT・Bcl-2・Ras・MEK・Erk など）

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で血液疾患に対して同種移植の治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、ドナーの安全性の調査やdaily G-CSF と pegfilgrastim の有効性を検証することを目的とされ、北海道大学病院に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2023年9月頃)～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院血液内科／検査・輸血部

担当医師 後藤 秀樹

電話 011-706-7214（医局直通）

2025 年 9 月 9 日（第 1 版）

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所：

医療機関名：

担当医師：

電話：

FAX：